

公益社団法人日本動物学会中国四国支部令和4年役員会議事録
令和4年5月21日(土) 10:30~12:00
オンライン(zoom) 審議

出席者(敬称略): 彦坂 暁(支部長), 富岡 憲治(理事), 吉田 将之(理事),
植木 龍也(支部代表), 箕田 康一, 森下 文浩, 椋田 崇生, 高田 裕美,
広橋 教貴, 佐藤 伸, 宇田 幸司, 山中 明, 清水 克彦, 藤原 滋樹, 浮穴 和義,
山口 陽子, 坂本 浩隆, 濱田 麻友子, 吉田 将之, 有本 飛鳥, 小林 勇喜(以上役員)

開会にあたり、広橋 教貴委員(三学会開催地元県委員として)ならびに彦坂 暁支部長より挨拶があった。

○報告事項

1) 理事報告

彦坂暁支部長より、2021年7月移行の理事会(第1~4回)の報告があった。

- 学会の予算は健全であるが、会費収入の減少傾向が続いている。
- 支部活動費15万円の一部を本部に返還した(新型コロナに伴い)。今後、支部活動費が足りなくなった際には本部に相談すれば柔軟に対応する(県委員→支部長→本部)。
- 広島大学 吉田将之委員が将来計画担当理事として承認された。前当該理事の兵藤理事は Zoological Science 編集主幹へ。
- Zoological Science のインパクトファクターが2.836に上昇。
- 今年の東京大会(早稲田)の準備は順調。来年度は山形大学。
- 成茂動物科学振興賞および川口賞(渡航15万円、オンライン5万円)の規定変更に関して説明があった。
- 学会賞・奨励賞の推薦書の様式から応募分野を削除。
- 理事業務への報酬に関して提案があり、今後も議論を続けていく。
- 支部規定の修正が報告された(役員会 参考資料1)。
- 学会賞・奨励賞・Zoological Science Award 選考規程等の修正が報告された(役員会 参考資料2)。
- 名誉会員、感謝状の贈呈の推薦について説明があった。本年度の締め切りは5月27日。
(名誉会員の人数制限は無し)

2) 庶務幹事報告

小林勇喜庶務幹事より、支部役員・会員数について報告があった。

□庶務幹事報告

①支部役員（2022年5月現在）

支部長	彦坂 暁	広島大・院・統合生命
理事	富岡 憲治	岡山大・院・自科
理事	吉田 将之	広島大・院・統合生命
支部代表	植木 龍也	広島大・院・統合生命
県委員	山中 明	山口大・院・創成科学
	箕田 康一	徳島文理大・理工
	森下 文浩	広島大・院・統合生命
	椋田 崇生	鳥取大・医
	高田 裕美	愛媛大・院・理工
	広橋 教貴	島根大・生命科
	佐藤 伸	岡山大・異分野融合先端研究コア
	宇田 幸司	高知大・自然系・理工
	真壁 和裕	徳島大・院・社会産業理工
企画委員	山中 明	山口大・院・創成科学
	清水 克彦	鳥取大・地域価値創造研究機構
	藤原 滋樹	高知大・自然系・理工
	浮穴 和義	広島大・院・統合生命
	村上 安則	愛媛大・院・理工
	真壁 和裕	徳島大・院・理工
	山口 陽子	島根大・生命科
	箕田 康一	徳島文理大・理工
	坂本 浩隆	岡山大・理・臨海
HP委員	濱田 麻友子	岡山大・理・臨海
会計監査	吉田 将之	広島大・院・統合生命
会計	有本 飛鳥	広島大・院・統合生命（臨海）
庶務	小林 勇喜	広島大・院・統合生命

赤文字 変更箇所

支部長、理事、支部代表は9月に交代予定です。

支部所在地： 〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1

広島大学大学院統合生命科学研究所（総合科学部気付）

TEL: 082-424-6403

FAX: 082-424-0758

②支部会員数について

2010	平成22年	277名		
2011	平成23年	276名		
2012	平成24年	296名		
2013	平成25年	305名		
2014	平成26年	310名		
2015	平成27年	297名		
2016	平成28年	302名		
2017	平成29年	286名		
2018	平成30年	264名		
2019	令和01年	256名		
2020	令和02年	256名		
2021	令和03年	248名		
2021	令和04年	249名	(+1名)	5月6日現在

愛媛	13名 (± 0)
岡山	66名 (+ 4)
香川	7名 (± 0)
広島	81名 (± 0)
高知	7名 (- 3)
山口	25名 (- 3)
徳島	8名 (- 1)
鳥取	18名 (+ 2)
島根	24名 (+ 2)

3) 会計幹事報告

有本飛鳥会計幹事より、別紙1,2のとおり令和2年度支部会計決算（令和2年7月1日～令和3年6月30日）および令和3年度決算見込み（令和3年7月1日～令和4年5月21日現在）について報告があった。

・令和2年度決算において、74,584円が本部へ返金される旨の報告があった。これは、新型コロナによる事業中止（支部大会等）に起因する一過性のものであることが説明された。

4) 会計監査報告

吉田将之会計監査より、令和2年度支部会計決算は適正な会計処理が行われていることを確認したとの報告があった。

5) 県委員・企画委員報告

各県委員からの報告をもとに小林勇喜庶務幹事から以下に関して報告があった。

○椋田 鳥取県委員報告

名称：「電子顕微鏡写真コンクール（仮称）」

（主催：「電子顕微鏡のまち・米子市」推進協力会）後援

日時：2022年3月

*新型コロナウイルス感染症拡大により開催延期

関連企画として、第92回米子大会・動物学ひろばで電顕写真の展示を行っていた。

○佐藤 岡山県委員報告

岡山県例会は中止した。

○宇田 高知県委員報告

名称：土佐生物学会
日時：2021年12月11日 9：30～15：40
場所：オンライン開催
内容：研究発表（口頭発表17題）
参加者：41名

○箕田 香川県委員報告
中国四国地区生物系三学会合同支部大会（6月19・20日）を企画・運営いたしました。県例会等の活動はありませんでした。

○高田 愛媛県委員報告
愛媛県例会：2021年12月に対面実施を目指していたが感染状況の先が読めず実施できなかった。

○森下 広島県委員報告
名称：オンライン広島県例会
日時：2022年3月8日 13：00～16：00
場所：Gathertown
内容：Gathertownを利用したオンライン形式で開催。画面共有機能を利用して、発表形式（ポスターまたは口頭）の選択は発表者の任意。
参加者：29名

○山中 山口県委員報告
名称：山口大学理学部サイエンスワールド2021～山大キッズ探検隊～（日本動物学会中国四国支部後援）
日時：2021年11月7日（日）
場所：山口大学吉田キャンパス
内容：学生による科学体験企画を中心とした、地域住民への理数系の魅力発信。
（出展企画数18件，外部博物館等による企画1件）
参加者：約220名

6) 2021年度米子大会について

椋田崇生鳥取県企画委員より、日本動物学会第92回米子大会の実施報告（別紙3）があった。

7) その他 特になし

○審議事項

1) 次年度事業計画について

各県委員からの意向を含め、小林勇喜庶務幹事から以下に関して提案があった。

① 次年度支部大会について

49回（平成9年） 愛媛

50回	(平成10年)	鳥取	(広島で植物学会)
51回	(平成11年)	高知	
52回	(平成12年)	広島	
53回	(平成13年)	山口	
54回	(平成14年)	香川	
55回	(平成15年)	島根	
56回	(平成16年)	徳島	
57回	(平成17年)	岡山	
58回	(平成18年)	愛媛	
59回	(平成19年)	鳥取	
60回	(平成20年)	広島	(高知で植物学会)
61回	(平成21年)	高知	
62回	(平成22年)	山口	
63回	(平成23年)	香川	
64回	(平成24年)	島根	
65回	(平成25年)	徳島	(岡山で動物学会)
66回	(平成26年)	岡山	
67回	(平成27年)	愛媛	
68回	(平成28年)	鳥取	
69回	(平成29年)	高知	
70回	(平成30年)	山口	(広島で植物学会)
71回	(令和元年)	広島	
72回	(令和3年)	(香川)	
73回	(令和4年)	(島根)	
次回予定:	74回	(令和5年)	(徳島)
次々回予定:	75回	(令和6年)	(岡山)

次回は徳島県で開催することを総会に提案することが承認された。
また、令和6年は岡山県で開催する方向が確認された。

② 県例会等について

○愛媛県

名称：愛媛県例会

日時：2022年12月（予定）

場所：愛媛大学理学部

○高知県

名称：土佐生物学会

日時：2022年12月（予定）

場所：高知大学理工学部

○鳥取県

名称：「電子顕微鏡写真コンクール（仮称）」（主催：「電子顕微鏡のまち・米子市」推進協力会）

日時：未定

新型コロナウイルス感染症拡大により開催延期となった企画を改めて後援予定

○岡山県

名称：岡山県例会

日時：2022年12月（予定）

場所：岡山大学理学部

○広島県

名称：広島県例会

日時：2023年3月上旬（予定）

場所：広島大学理学部

ポスター形式による発表会を予定しているが、状況により口頭発表形式、またはオンライン形式に変更する。

○山口県

名称：山口大学理学部サイエンスワールド 2022

日時：2022年11月6日（日）（日程調整中）

場所：山口大学吉田キャンパス

2022年度の県例会等の実施について総会に提案することが承認された。

2) 次年度支部予算案について

有本飛鳥会計幹事より、令和4年度支部会計予算について、令和4年7月1日～令和5年6月30日の支出計画案（別紙4）が提出され、総会に提案することが承認された。

・実際に則した形に近づけるために通信運搬費を5000円から7000円へ、消耗品費を5000円から3000円へ変更した。支出の小計は変更なし。

3) 総会の次第について

原案通り了承された。

4) 三学会香島根大会：若手研究者優秀発表賞の選考について

選考方法について彦坂暁支部長および広橋 教貴委員から提案があり、議論の結果、以下の方法で選考を行うことが決まった。

基本は以下の通りとする。

平成30年2月8日一部改訂

・若手研究者優秀発表賞への応募があった発表演題の中から、原則として2題以内を選考し、第一著者として発表を行った若手研究者（発表時35歳未満）を受賞者とする。

・若手研究者優秀発表賞へ応募するものは、支部大会申込票C票（発表演題申込票）の所定欄に発表時の身分（学生の場合は学年）・生年月日等を記すこととする。発表は支部大会開催県の指定した形式とする。

・プログラムに若手研究者優秀発表賞の応募演題であることを示す。ポスター形式の場合には、応募ポスターに優秀発表賞の応募演題であることを示す。

- ・ 選考委員は受賞候補者 2 名以内を選考・投票する。応募者の多少にかかわらず該当者がいないと判断された場合には、該当者なしとして投票する。
- ・ 投票数を集計し、上位の者を受賞者に決定する。尚、受賞者数の決定は選考委員会に一任する。
- ・ 選考・表彰の運営は、支部大会開催県の選考委員（支部役員等）が中心となって行うものとする。
- ・ 本申し合わせ事項の改訂は、支部役員会に付す必要がある。

島根大会における実際の運用

- ・ 選考は支部役員によるオンライン投票とする
 - 二重投票を避けるために記名投票（2 演題まで選んで投票）
 - 発表終了後 10 分後に投票を締め切りし即時開票（支部長と三学会開催県の県委員で開票）
 - 受賞者数は最大 2 名

* 投票者が関連する演題に対する投票に関して（必要に応じて今後も検討する）

実際に指導している学生に対しては投票を避ける。連名であっても優れていると判断すれば投票しても良い。紳士協定として運用する。

（投票者の記名・無記名、連名の扱い等に関しても意見が出された）

* 賞状に関して

三学会開催県の県委員が印刷し、支部本部へ送付。支部本部が支部の判子を押印し、受賞者へ送付する。副賞の送付に関しては臨機応変に対応（開催県の県委員から直送、賞状と共に支部本部を介してなど）。

5) その他 特になし

令和2年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 決算
(令和2年7月1日～令和3年6月30日)

収入の部		予算	決算			
繰越金		¥171,202		¥245,786		
支部活動費		¥150,000		¥150,000		
預金利息		¥2		¥2		
		¥321,204		¥395,788		
支出の部		予算	内訳	執行額	内訳	
事業費		¥156,000		¥156,000		
	支部大会援助金(香川大会)		¥100,000		¥100,000	
	シンポジウム援助金(香川大会)		¥15,000		¥15,000	
	若手研究者優秀発表賞援助金		¥15,000		¥15,000	
	県例会援助金		¥26,000		¥26,000	
					広島県	¥5,000
					岡山県	¥5,000
					山口県	¥3,000
					島根県	¥3,000
					愛媛県	¥2,000
					鳥取県	¥2,000
					香川県	¥2,000
					高知県	¥2,000
					徳島県	¥2,000
選挙費		¥0		¥11,000		
通信運搬費		¥5,000		¥6,409		
					¥275	送金手数料
					¥366	送金手数料
					¥152	送金手数料
					¥756	返送用84円切手9枚
					¥189	現金書留封筒9枚(1枚21円)
					¥4,671	現金書留郵送料9通(1通519円)
給料手当		¥30,000		¥30,000		
	庶務幹事手当		¥10,000		¥10,000	
	会計幹事手当		¥10,000		¥10,000	
	ホームページ委員手当		¥10,000		¥10,000	
雑費		¥2,000		¥0		
謝金		¥5,000		¥0		
消耗品費		¥5,000		¥0		
小計		¥203,000		¥203,409		
返金(本部)		¥0		¥74,584		
予備費		¥118,204		¥117,795		次年度繰越
収入の部		予算		決算		

令和3年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 決算見込み
(令和3年7月1日～令和4年5月21日現在)

収入の部		予算	決算			
繰越金		¥171,202		¥171,202		
支部活動費		¥150,000		¥155,000		
預金利子		¥2		¥2		
		¥321,204		¥326,204		
支出の部		予算	内訳	執行額	内訳	
事業費		¥156,000		¥156,000		
	支部大会援助金(島根大会)		¥100,000		¥100,000	
	シンポジウム援助金(島根大会)		¥15,000		¥15,000	
	若手研究者優秀発表賞援助金		¥15,000		¥15,000	
	県例会援助金		¥26,000		¥26,000	
						広島県 ¥5,000
						岡山県 ¥5,000
						山口県 ¥3,000
						島根県 ¥3,000
						愛媛県 ¥2,000
						鳥取県 ¥2,000
						香川県 ¥2,000
						高知県 ¥2,000
						徳島県 ¥2,000
選挙費		¥11,000		¥0		
通信運搬費		¥5,000		¥5,946		
						¥330 送金手数料
						¥756 返送用84円切手9枚
						¥189 現金書留封筒9枚(1枚21円)
						¥4,671 現金書留郵送料9通(1通519円)
給料手当		¥30,000		¥30,000		
	庶務幹事手当		¥10,000		¥10,000	
	会計幹事手当		¥10,000		¥10,000	
	ホームページ委員手当		¥10,000		¥10,000	
雑費		¥2,000		¥0		
謝金		¥5,000		¥0		
消耗品費		¥5,000		¥0		
小計		¥214,000		¥191,946		
返金(本部)		¥0		¥0		
予備費		¥107,204		¥134,258		次年度繰越
計		¥321,204		¥326,204		

第92回日本動物学会米子大会 実施報告

米子大会準備委員会・総務担当 椋田

1. 第92回日本動物学会米子大会(市民公開イベント現地開催分を除く)

- 開催期間 2021年9月1日(水)サテライトシンポジウム等プレイベント
9月2日(木)～4日(土)
- 開催方法 Gather.town, Zoom等を用いたオンライン開催
- 学術集会実施内容 (90回大阪/91回オンライン)
シンポジウム等：本部企画1, 公募10, 関連4, サテライト1企画 合計78(112/24)演題
受賞者等発表：11演題
一般演題(すべてポスター発表)：368(446/252)演題
参加者：一般419(775/333), 院生241(?/341), 学部学生53(64/-), 非会員33(?/33)名
- 市民公開イベント実施
オンライン動物学ひろば：5件
高校生研究発表：51(66/-)演題 (閲覧期間は8月26日から9月8日まで)

2. 市民公開イベント現地開催分

- 開催期間 2022年3月19日(土)
- 開催場所 米子コンベンションセンター(鳥取県米子市)
- 実施内容
動物学ひろば：現地展示(含オンライン併用)11, オンライン1件
公開講演会：3演題
参加者数：165(450/-)名

長期間にわたって
多大なご支援・ご協力を賜り
本当にありがとうございました



令和 4 年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 予算案

(令和 4 年 7 月 1 日～令和 5 年 6 月 30 日)

収入の部		予算	
繰越金		¥134,258	(見込み)
支部活動費		¥150,000	
預金利子		¥2	
		¥284,260	
支出の部		予算	内訳
事業費		¥156,000	
	支部大会援助金		¥100,000
	シンポジウム援助金		¥15,000
	若手研究者優秀発表賞援助金		¥15,000
	県例会援助金		¥26,000
選挙費		¥0	
通信運搬費		¥7,000	
給料手当		¥30,000	
	庶務幹事手当		¥10,000
	会計幹事手当		¥10,000
	ホームページ委員手当		¥10,000
雑費		¥2,000	
謝金		¥5,000	
消耗品費		¥3,000	
小計		¥203,000	
予備費		¥81,260	
計		¥284,260	